

下水道を守るために

三和北中学校

二年

杉山

音加

私たちが生きるためには水が必要です。その水を守っているのが下水道です。下水道は、どんな役割をしているのでしょうか。

一つ目は、街を清潔にすることです。私たちの家庭からでた汚れた水は、家の下にある排水管を通って下水管に流れて、下水処理場に運ばれていきます。下水道があることで、汚水が直接街に流れなくなるため、街が清潔

に保たれ、ハエなどの害虫や悪臭の発生を防ぐことができます。

二つ目は、街を浸水から守ることです。雨がたたくさん降っても、街に雨水がたまって水浸しにならないよう、素早く排水してくれま

す。
三つ目は、身近な環境を守ることです。街や工場から流れてきた汚水は、下水処理場に運ばれ、そこでさまざまな処理をしてきれいにし、消毒してから川や海に流します。その

ため、環境を守ることにつながります。

四つ目は、エネルギーや資源をつくることです。下水処理場では、汚水をきれいにするだけでなく、きれいになった水を再生水として利用したり、処理のときに発生したバイオガスを自動車燃料や都市ガスとして利用したりして、エネルギーや資源をつくりだしています。

このように、下水道は大切な役割をします。では、下水道がないとどんな影響がでてしまうのでしょうか。

まず、川や海が汚れてしまいます。下水道がないと、家庭などからでた汚水をそのまま川へ流すことになります。川の水は海へ流れていきます。そのため、汚水も一緒に海へ流れ込んでしまい、川も海も汚れてしまいます。そして、川や海に流れた汚水の中にプラスチックなどのいつまでも分解されないゴミがあると、それをえさと間違えて生き物が食べてしまうことがあります。また、化学肥料や

殺虫剤などの化学物資があっても、生き物に
深刻な影響を与えてしまします。それだけで
なく、汚染された生き物を別の生き物が食べ、
その生き物をまた別の生き物が食べてしまう
ことを繰り返して、食物連鎖を通じて有害物質
が蓄積していき、最後には人間にも影響を与
えます。

この他にもきれいな水が飲めなくなっ
てしまったり、汚れた物がたまって臭くなっ
てしまったり、さまざまな悪影響がでます。
下水道

道がどれだけ大切かわかりました。
では、下水道を守るために、私たちに何
ができるでしょうか。暮らしの中でできるこ
とはたくさんあります。例えば、台所ゴミを
流さないことです。三角コーナーや排水口の
ストリーナーで目の細かいものを使用し、ゴ
ミ取りネットを使うと効果が上がります。そ
して、油を流さず、新聞紙や不要な紙などで
吸い取って、燃えるゴミとして捨てること
です。油を流してしまうと、水を汚すうえに

排水管に油が付着し、つまりの原因にもな
てしまいます。次に、集水ますにゴミを掃き
こまないことです。掃きこんでしまうと水
を汚すうえに、下水管の中にゴミが堆積して
つまりや悪臭の原因になつてしまいます。そ
の他にも、食器などの汚れを不要な紙でふき
取ったり、洗剤を適量使ったり、台所まわり
を掃除したり、トイレにトイレットペーパー
以外のものを流さないようにしたり、できる
ことはたくさんあります。これだけでも、下
水道を守る手助けになります。簡単なことか
もしれませんが、これができていない人は多
いと思います。私もできていないことがいく
つかありました。

私たち人間が生きるために必要な水は、下
水道の働きのおかげで使うことができいま
す。最初に挙げた例のように、下水道がない
と水が汚れてしまい、たくさん悪影響がで
てしまいます。それだけ下水道は重要な役割を
しています。だから、下水道を守らなければ

いけません。そのためには一人ひとりができることをやる必要があります。小さなことでも、やり続ければ下水道を守ることにつながります。だから、下水道を守るための努力をし続けましょう。